









第4回  
思春期ピアカウンセリング全国大会 開催

第4回思春期ピアカウンセリング全国大会が昨年12月23日～24日、東京・渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで「広げようピアの輝きXmas Tokyo」をテーマに開催された(後援：JFPA他)。本大会は2年に1回開催されるもので、今回はJFPA若者委員会

と交流を深めた。プログラムを通して、学び

例を紹介。被害を受けていた友人には、「あなた

が悪いのではないか」「いつでも力になる」「信頼できる相談先を知っている」などのメッセージを

送り、支援するよう呼びかけた。被害を受けていた友人に、データDVへ

なつていてるという「データDV」をテーマに取り上げ、北村邦夫本会家庭計画研究センター所長の

講演、質疑応答、ケーススタディが行われた。北村所長は、臨床現場

で接するデータDVの事例を紹介。被害を受けていた友人には、「この人が話をしてもよい」と思つてもらえるよう日頃の言動に気を配り、信頼関係を築くことが必要だと強調した。

高村寿子曰く、「あなた

がその友人に「この人な

ら話してもよい」と思つてもらえた」という質問には、まず自分

もがNICU入院中には無力感、恐怖感、不安感にさいなまれ、その後、父親を筆頭に家族との児に対する意識のすれを感じている場合も多い。ま

た、子どもをみれば、前

述したように体は小さく、障害は境界領域を含める

かわからず、脳性麻痺は12歳、16歳にみられ、知的

障害は3倍前後多動性

低出生体重児、極低出生

超低出生体重児として、1995年、2000年、2005年に出生

した児の3歳時点での運動発達障害、精神発達障

害は表1のごとく、新生児医療が進歩したにも

かかわらず、脳性麻痺は約30%が、38%、37%

と減少ではなく、やや増加していることがわか

る。また、学童期になっ

てからはじまりしてく

る、広汎性発達障害、学習障害、多動症などの発

達障害においても、正常

に出生した児に比べ、超

低出生体重児は3倍前後多動性

低出生体重児は5倍前後学

障害が多く、5倍前後学

障害が多いと言われて

いる。

こういった子ども達に

は、一次的発達障害を起

む。一方、聴力において

も弱視のリスクは高く、

も、早期発見、早期治療

によりその治療成績はか

なり向上したが、未だに

新生児予後の点で大きな

問題となっている。すな

は、レーザー治療の進歩

によりその治療成績はか

なり向上したが、未だに

新生児医療が進歩し、

それ以降に生まれた児で

も弱視のリスクは高く、

も、早期発見、早期治療

によりその治療成績はか

なり向上したが、未だに

新生児医療が進歩し、

それ以降に生まれた児で

も弱視のリスクは高く、





女性を対象に公開しています。  
女性のための健康応援サイト「ウーマンズヘルス」(<http://www.jfpa.info/wj/>)をご存じですか?これは本会が成人発信を行っています。

◎...内容は、知りておき



# 若者たちに性の基本的な知識を

西口クリニック婦人科(福島県福島市)院長 野口まゆみ



当院では、思春期相談コーナーを用意しています。

\*予約制 予約日( / : ) 指定日と時間  
待ち着いて相談ができます。  
午前(第2~第4) 17:00~19:00  
午後(第1~第3) 14:00~16:00

\*料金 無料で相談できます。

相談コーナー紹介カード

相談コーナー紹介カード  
医会では、県内各地で性教育講演に対応できる体制を整え、学校や地域の依頼にこなしてきました。

私と性教育の関わり  
平成7年に婦人科を開業後しばらくすると、若い方が多く受診するようになりました。彼女たちの悩みは月经に関するものだけでなく、望まない妊娠や性感染症など性交に関する問題が多いことに驚いたのが性教育へ関わる最初でした。問題が起きてから医療機関を受診するのではなく、性に関する基本的な知識を持つて、トラブルになる前に対処できるようになつてもらいたいといつ思つてもいいことがあります。

いからクリニックの外へ

で働きかけることにし  
ました。

その頃福島県は10代の人工妊娠中絶率が全国3位といふことで、教育や保健に関する県の行政側でも性に関する教育に取り組もうと動き始めたところでした。福島県は面積が広く、各地域がそれそれ立ち上がりなければうまくいかないといつことから、福島県産婦人科医会では、県内各地で性教育講演に対応できる体制を整え、学校や地域の依頼にこなしてきました。

リレートーク

(23)



野口氏

続編としています。この事業に参加したこと、地域で思春期ピアカウンセラーを育てる活動をしていました。

また医師やコメディカルだけでなく、教育や保健行政に関わる人も思春期に関する知識や現状認識を深めていただけですが、年1回思春期保健研修会を開催しています。

思春期相談の記録を見ています。まだ医師やコメディカルだけでなく、教育や保健行政に関わる人も思春期に関する知識や現状認識を深めていただけですが、年1回思春期保健研修会を開催しています。

思春期相談の記録を見ています。

まだ医師やコメディカルだけでなく、教育や保健行政に関わる人も思春期に関する知識や現状認識を深めていただけですが、年1回思春期保健研修会を開催しています。

思春期相談の記録を見ています。

まだ医師やコメディカル

思春期相談の記録を見ています。

まだ医師